



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
 ~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~

☆5月の目標

☆あとしまつの「あ」

☆整理・整とん

☆笑顔で  
 あいさつを  
 かわそう

☆ 学校からのお願い ☆ ※ピーナッツ禁止※

オーチャード校(学校借用校)では、アレルギー対策として校内でのピーナッツ関係(ピーナッツ、ピーナッツバター、他)の昼食、食べ物の持ち込みを禁止しています。本校でも禁止していますので、保護者の皆様よろしくお願ひします。

子どもたちの作文から

※作文を紹介していきます!

「カレーライス」を読んで  
 スパークス 美頼 (6年1組)

ひろしがもう中辛のカレーライスを食べている事をお父さんは知りませんでした。それを知ったときお父さんは、「いやあ、まいったなあ、ひろしももう『中辛』だったんだな。そうだよな、来年から中学生なんだもんなあ。」といました。お父さんは目の前に座っているひろしを見て「いつまでも子どもだと思っていたのに、もう来年は中学生だった。子どもの成長は本当に早い。あっという間に大人になるんだろうな。子ども扱いばかりしてはだめだな。」と思いながら、中辛のカレーライスを一緒に食べていたと思います。

私はこれを読んで、ひろしのお父さんが思っている事は、どの親も同じ事を思っているということにすぐ気がつきました。どの親も、子どもの成長におどろき、喜んでます。それを、甘口、中辛のカレーライスを使って表現しているところが面白かったです。



☆配布物のお知らせ

1 学校便り 5号

☆保護者会からの配布物

1 保護者会便り  
 (バル・バス当番関係)

...主な日程...

- ・5月14日 授業参観  
 学級説明会
- ・5月21日 避難訓練
- ・6月 4日 第1回漢字検定
- ・6月25日 1学期終業日
- ・8月 6日 2学期始業日

「カレーライス」を読んで

秋本 登太 (6年1組)

「カレーライス」を読んで、ぼくはいくつか共感できる部分があります。ひろしは「お父さんウィーク」の前の日に、1日30分の約束を破ってお父さんに急にコードをぬかれて、腹を立てています。ぼくもたまに親にしかられるので、ひろしの気持ちは分かります。ぼくもしかられた後1日ほどの間は、ひろしと同じように「自分は悪くない」と思ってしまいます。でも、大抵その次の日には、しかられた理由に納得することができます。ひろしも、「お父さんウィーク」の2日目には、あやまるうという気持ちが少しだけ表れています。

そして、3日目に「ごめんなさい」のかわりにお父さんと作った『中辛』のカレーは、仲直り出来たうれしさがまぎって、ほんのり甘くなったんだと思います。

「カレーライス」を読んで

大幡 蘭 (6年1組)

この本の甘口と中辛は、2つの意味を表す。1つ目は、カレーライスの味のことで、もう1つはひろしの成長だ。甘口はまだ小さい子どものひろしで、中辛は今のひろしのことだろう。今のひろしは火を使う料理もできるぐらい成長しているが、お父さんから見たひろしはまだ小さい子どものままだということだ。

最後の文「ピリッとからくて、でもほんのりあまかった」は、ひろしとお父さんが一緒に作ったカレーライスには、この甘口と中辛が混ざり合っているということだ。

つまり、二人は仲直りできたことを表している。残りのお父さんウィークは楽しくなるだろう。